

## 平成31年度 学校教育自己診断 分析

生徒 (阪南高校に入ってよかった) 肯定率 81%

保護者 (阪南高校に入学させてよかった) 肯定率 95%

生徒や保護者から、信頼されており、これからも高く評価され、愛される学校となることが重要である。

保護者 (学校は家庭への連絡や意思疎通をしっかりと行っている) 肯定率 72%

教職員 (必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。 肯定率 69%

保護者や地域の方々としっかり両手をつなぎ、その真ん中に生徒がいる学校にしていきたい。

### (授業関連)

肯定率 生徒 64% 教職員 70% 保護者 65%

特に、生徒のICT関連の肯定率は75%と高く、授業見学を実施した際も若手教員のみならず、ベテラン教員もICTを活用していたことは評価できると考える。さらに、プロジェクターやパソコンの周辺機器の整備充実を図っていきたい。

### (進路関連)

肯定率 生徒 75% 教職員 77% 保護者 69%

学校の進路指導は一定評価いただいているが、近年、大学入試定員の厳格化の影響があり、より一層早い時期からの進学指導の充実を図っていきたい。

### (人権教育関連)

肯定率 生徒 74% 教職員 76% 保護者 69%

いじめ未然防止委員会の定期的な開催をはじめ、生徒の人権を尊重した教育を心掛け、生徒が安全で安心できる学校であるように今後も人権教育を推進していきたい。